

第9期介護保険事業計画実施状況モニタリング 令和6年度全体

モニタリング実施日：令和7年6月13日

1. 認定者数

(人)

		計画値	実績値	差異
高齢者数		47,439	47,410	-0.1%
年齢階級	前期高齢者	21,123	21,116	0.0%
	後期高齢者	26,316	26,294	-0.1%
要介護認定者数		9,591	9,581	-0.1%
年齢階級	前期高齢者	882	864	-2.0%
	後期高齢者	8,709	8,717	0.1%
要介護認定率		20.2%	20.2%	0.0%
年齢階級	前期高齢者	4.2%	4.1%	-0.1%
	後期高齢者	33.1%	33.2%	0.1%

2. 受給者数

(人)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	11,100	10,867	-2.1%
	訪問入浴介護	1,716	1,770	3.1%
	訪問看護	1,764	1,786	1.2%
	訪問リハビリテーション	1,860	1,593	-14.4%
	居宅療養管理指導	2,124	2,957	39.2%
	通所介護	13,980	13,683	-2.1%
	通所リハビリテーション	5,160	5,061	-1.9%
	短期入所生活介護	12,708	13,008	2.4%
	短期入所療養介護（老健）	252	273	8.3%
	福祉用具貸与	31,392	32,105	2.3%
	特定施設入居者生活介護	3,408	3,252	-4.6%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	1,056	628	-40.5%
	認知症対応型通所介護	408	419	2.7%
	小規模多機能型居宅介護	2,508	2,313	-7.8%
	認知症対応型共同生活介護	6,864	6,681	-2.7%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	780	786	0.8%
	地域密着型介護老人福祉施設	864	964	11.6%
	看護小規模多機能型居宅介護	612	649	6.0%
	地域密着型通所介護	5,784	4,944	-14.5%
施設サービス	介護老人福祉施設	15,084	15,129	0.3%
	介護老人保健施設	7,524	7,683	2.1%
介護予防支援・居宅介護支援		53,400	52,402	-1.9%

3. 給付費

(円)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	1,158,955,000	1,047,462,879	-9.6%
	訪問入浴介護	115,093,000	103,297,922	-10.2%
	訪問看護	70,377,000	65,302,611	-7.2%
	訪問リハビリテーション	54,773,000	43,963,445	-19.7%
	居宅療養管理指導	14,198,000	16,781,901	18.2%
	通所介護	991,673,000	913,013,982	-7.9%
	通所リハビリテーション	242,038,000	231,609,473	-4.3%
	短期入所生活介護	2,210,073,000	2,216,471,129	0.3%
	短期入所療養介護（老健）	25,826,000	24,859,721	-3.7%
	福祉用具貸与	376,326,000	360,371,703	-4.2%
	特定施設入居者生活介護	579,935,000	563,229,084	-2.9%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	160,790,000	91,978,096	-42.8%
	認知症対応型通所介護	50,215,000	45,296,128	-9.8%
	小規模多機能型居宅介護	444,001,000	386,250,914	-13.0%
	認知症対応型共同生活介護	1,827,393,000	1,741,945,817	-4.7%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	157,816,000	156,791,926	-0.6%
	地域密着型介護老人福祉施設	253,188,000	288,027,974	13.8%
	看護小規模多機能型居宅介護	172,751,000	184,946,263	7.1%
	地域密着型通所介護	349,643,000	316,792,486	-9.4%
施設サービス	介護老人福祉施設	4,099,728,000	4,089,722,999	-0.2%
	介護老人保健施設	2,221,557,000	2,151,533,695	-3.2%
介護予防支援・居宅介護支援		754,809,000	710,281,190	-5.9%

4. 差異が生じている主な要因等について

①認定者数

(状況)

- 高齢者数（全体）、認定者数（全体）において実績値が計画値を下回っているが、差異は0.1%未満であり概ね計画どおりの数値となっている。
- 要介護認定者数（前期高齢者）においては計画値に対し差異が-18人（-2.0%）となっている。

(要因)

第9期介護保険事業計画1年目であり、計画値と実績値に大きな差異はみられない。要介護認定者数（前期高齢者）の差異-18人（-2.0%）については、事業対象者への移行、介護予防事業の効果により少なくなったと考えられる。

②受給者数・給付費

(状況)

- 居宅サービス…ほとんどのサービスが計画値を下回っている。
- 地域密着型サービス…ほとんどのサービスが計画値を下回っている。その中でも、定期巡回・随時対応型が計画値を大きく下回っている。また、地域密着型介護老人福祉施設は計画値を上回っている。
- 施設サービス…概ね計画値どおりに推移している。

(要因)

- 居宅サービス…通所系サービスは計画値より下回ってはいるが、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に回復傾向である。その中で、医師、薬剤師等が自宅へ訪問し、療養上の管理や指導が受けられる居宅療養管理指導が、計画値を大きく上回った。
- 地域密着型サービス…定期巡回・随時対応型については、予定していた事業所が整備を断念したことや、遅延していることが計画値を下回った要因と考えられる。また、地域密着型介護老人福祉施設については、稼働率が上がったことで計画値を上回った。
- 施設サービス…概ね計画どおりの整備が進んだ。